

GKP下水道を未来につなげる会 in京都大学（2025年1月15日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和7年1月15日に京都大学下水道工学講座にて出前講座を行いました。藤原拓教授の全面協力を頂き、京都大学での同イベントは8回目の開催となりました。

学部3、4回生を中心に38名が参加し、下水処理場の新設計画について、グループワークを行い、学生同士で活発な議論が行われていました。

[実施概要]

講座名：下水道工学特別演習内での下水道事業及び業界の紹介

日時：2025年1月15日（水） 8時45分～10時15分

場所：京都大学 吉田キャンパス 総合研究4号館共通3

対象：京都大学工学部2、3、4回生 38名

実施内容：GKP未来会の紹介、グループワーク・発表（下水処理場の新設計画）

参加団体：京都市、大阪市、日水コン、極東技工コンサルタント、日本水工設計コンサルタント、メタウォーター、神鋼環境ソリューション



▲皆さん、講義に集中してくれました



▲社会人としての経験を伝えました



▲議論に熱が入る！

（藤原教授の講評）

学生にとっては、実際に下水道の現場で活躍している方と交流出来たことが貴重な経験になった。グループワークでは様々な視点から意見が出ており、さらにお互いの発表内容に対し深堀質問をするなど、活発な議論を交わっていた点が非常に良かった。発表内容に関しても、論点を構造的に整理して説明出来ていた点が良かった。構造的に整理することは自身の意見を分かりやすく伝えるうえで有効なことなので、今後の学生生活においてもぜひ実践してほしい。